

～第11回(平成24年度)学生生活実態調査報告書から検証～

大学祭の意義

交流を深める場として
多くの学生が共有

大学祭への参加率は、学部生92%、大学院生でも34%と高い。「大学祭をどう考えていますか」という問いには、「お祭り」と答えた者が学部生で72%、大学院生で64%とそれぞれ1位となっている。続いて学部生、大学院生ともに、「学生同士の交流の場」、「地域との交流の場」、「課外活動のPRの場」が高い。

主催する側も参加する側も、お祭り感覚ではあれ、積極的にコミュニケーションを深める場を求めている事実は大切に必要があるだろう。今年度は11月22日(土)、23日(日)の両日、「Heart to Heart」仲間の絆」をテーマに開催するので、ぜひご参加を。

演奏を披露する
絶好の機会



たぐちまな
田口真奈さん

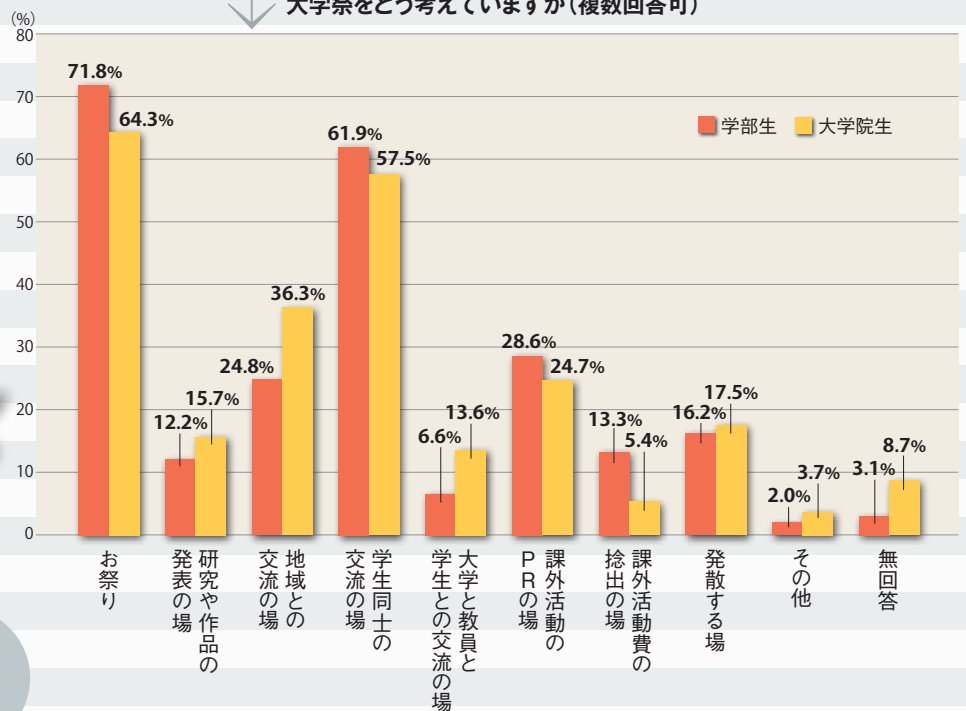
軽音楽部部长
学校教育学部
幼年教育系コース3年

しまだたける
島田武さん

軽音楽部部員
学校教育学部
芸術系コース(音楽)3年

大学祭は軽音楽部のほぼ全てのバンドが出演するイベントで、今年度は約50組が演奏します。バンドから弾き語り、曲もロックやポップなどジャンルも幅広く、きつとお気に入りの音楽を見つけてもらえると嬉しいです。部外の方たちに演奏を聞いてもらう絶好の機会であり、この日のために練習を重ねています。成長した姿をぜひ見てほしいです。

大学祭をどう考えていますか(複数回答可)



ひねゆうすけ
日根勇介さん

大学祭実行委員長
学校教育学部
総合学習系コース2年



みんなが楽しめる
大学祭を企画

大学祭は準備、企画と、全てにおいて私たち学生が主体となってつくり上げるものです。学生たちが出店する模擬店やバンド演奏、附属幼稚園とのコラボレーション企画など多彩な催し物があります。大学生生活に慣れたばかりで、わくわくしている1年生も、兵教大のことは知り尽くしているという先輩たちも、きつみんなが楽しめます!

大学祭の出会いは
かけがえのないもの

昨年の大学祭で、私たち留学生は水餃子の模擬店を出しました。餃子をゆでる係、スープを作る係、会計係など役割を分担し、互いに助け合いながら販売しました。地元の方もたくさんお越しいただき、水餃子を準備する間に親しく会話することができました。留学生同士の交流はもちろん、地元の方と出会えたことも大学祭のかけがえのない思い出です。



きょうぎょうり
葵晓莉さん(中国)
特別聴講学生